



財団法人 岐阜県文化財保護センターだより  
<http://www.maibun.gifu-net.jp>

三田洞本部・整理所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1  
 Tel.058-237-8550(代) Fax.058-237-8551  
 e-mail.gifu@maibun.gifu-net.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1  
 Tel.0577-72-4784 Fax.0577-72-4690  
 e-mail.hida@maibun.gifu-net.jp



上岩野遺跡出土 土偶

も く じ

表紙	巻頭グラビア	1	センターピックアップ	教育普及活動紹介など	6
センターレポート	10年誌刊行情報と役員・組織など	2・3	センターだより	情報ボックス・センター日誌・編集後記	7
発掘・整理最前線	平成14年度調査事業計画	4・5	センターピックアップ	博物館展示品紹介、ホームページ紹介	8

▼上岩野遺跡 (清見村)



岐阜県文化財保護センター設立時に、「センターとみなさんをつなぐまなづな」「過去と未来をつなぐまなづな」「東西文化をつなぐまなづな」「地域の人と人をつなぐまなづな」という願いから命名され、年3回発行しています。

まなづな発!  
 発掘調査最前線!



平成14年  
 7月1日

第34号

# 「10年のあゆみ」刊行!



当センターは、設立されて以来、平成12年で10周年を迎えました。その間、岐阜県各地で数多くの発掘調査を行った結果、いろいろな地域の昔の姿が少しずつ明らかになってきました。たとえば、藤橋村の戸入村平遺跡や上原遺跡、丹生川村の西田遺跡や岩垣内遺跡などでは、縄文時代の集落跡が見つかりました。大垣市の荒尾南遺跡では、弥生時代の船が描かれた土器がみつかり、近くに海があったことが予想できるようになりました。

また、みなさんに発掘を知っていただくためにいくつかの活動を行っています。小学5、6年生を対象とした体験発掘「タイムスリップ探検隊」、発掘成果を見ていただく「発掘速報展」などがあります。

こうしたセンター10年の歩みを、多くの写真を使ってまとめました。



## センターの沿革

H.3	4.1	(財)岐阜県文化財保護センター、穂積町牛牧の本巢県事務所構内で開所する。
H.4	7.29~30	「第1回タイムスリップ探検隊」を藤橋村の上原遺跡と「ふじはし星の家」にて開催する。
H.5	3.31	飛騨出張所、清見村牧ヶ洞の清見村中央公民館内で開所する。
	4.30	「岐阜県下発掘調査報告会」を本巢県事務所にて開催する。(77名)
	7.28~29	「第2回タイムスリップ探検隊」を藤橋村の上原遺跡と「ふじはし星の家」にて開催する。
H.6	4.1	本部事務所、岐阜市司町の岐阜総合庁舎へ移転し開所する。
	5.2	「岐阜県下発掘調査報告会」を岐阜総合庁舎にて開催する。(112名)
	5.9~13	本部整理室にて「出土遺物一般公開」を開催する。(500余名)
	8.10~11	「第3回タイムスリップ探検隊」を岐阜市堀田城之内遺跡にて開催する。
	12.1	国府整理所を開設する。
	12.19~23	「埋蔵文化財発掘調査速報展」を岐阜総合庁舎にて開催する。(1,735名)
H.7	5.1	「岐阜県下発掘調査報告会」を岐阜総合庁舎にて開催する。(116名)
	5.2	「県下埋蔵文化財担当者会議」を岐阜総合庁舎にて開催する。
	8.9	「第4回タイムスリップ探検隊」を丹生川村カクシクレ遺跡等にて開催する。
H.8	1.18	飛騨出張所、国府町名張へ新築移転し開所する。
	1.19~25	飛騨出張所にて速報展「飛騨のあけぼの展」を開催する。(600名)
	6.11~27	速報展「よみがえる縄文の世界-旧徳山村」を岐阜県博物館で開催する。(3,419名)
	7.7	岐阜県発掘調査報告会「96新発見考古速報」を岐阜県図書館で開催する。(152名)
	8.9	「第5回タイムスリップ探検隊」を野篁遺跡等にて開催する。
H.9	7.19	岐阜県発掘調査報告会「97新発見考古速報」を高山市で開催する。(150名)
	8.7	「第6回タイムスリップ探検隊」を下有知遺跡群等にて開催する。
H.10	1.7~2.1	速報展「土に刻まれた古代・中世」を岐阜県博物館で開催する。(924名)
	4.20	本部移転に先立ち、三田洞整理所を開所する。
	7.6	(財)岐阜県文化財保護センター、岐阜市三田洞へ移転し開所する。
	7.18	岐阜県発掘調査報告会「98新発見考古速報」を各務原市視聴覚センターで開催する。(200名)
	8.5	「第7回タイムスリップ探検隊」を古川町太江遺跡等にて開催する。
	8.5	「第8回タイムスリップ探検隊」を可見市柿田遺跡等にて開催する。
H.11	1.13~1.31	速報展「いにしへの美濃と飛騨」を岐阜県博物館で開催する。(1,290名)
	3.19	穂積整理所の移転作業をする。
	3.23	揖斐川整理所の移転作業をする。
	4.16	三田洞整理所のプレハブ新棟工事が完了する。
	7.18	岐阜県発掘調査報告会「岐阜県新発見考古速報1999」を美濃加茂市「シティプラザ美濃加茂」で開催する。(190名)
	8.5	「第9回タイムスリップ探検隊」を可見市柿田遺跡等にて開催する。
	2.16~3.5	速報展「いにしへの美濃と飛騨」を岐阜県博物館で開催する。(2,430名)
	2.25	「野村文庫」の贈呈式。(岐阜大学名誉教授・故野村忠夫氏の蔵書が寄贈される。)
H.12	7.18	岐阜県発掘調査報告会「岐阜県新発見考古速報2000」を大垣市ストピアセンターで開催する。(150名)
	8.1	「第10回タイムスリップ探検隊」を可見市柿田遺跡等にて開催する。
	H.13 12.9~1.14	特別企画「いにしへの美濃と飛騨」を岐阜県博物館で開催する。(3,697名)

## 調査した主な遺跡



調査をして出てきた多くの土器や石器、遺跡の様子や出てきたものの様子などをカラー写真で紹介しました。たとえば、藤橋村の戸入村平遺跡の縄文土器、大垣市の荒尾南遺跡の船が描かれた弥生土器、今宿遺跡の土人面土器などの土器。そして、丹生川村のカクシクレ遺跡の水さらし場や丸山遺跡の琥珀が出土した様子など。それらを発掘した年代順に並べました。また、高山陣屋跡、今宿遺跡の足跡、岩井谷遺跡、冬頭城跡、柿田遺跡などは、空からの写真を使って発掘場所全体がわかるようにしました。これらの写真を見ただけで、当センターの10年のあゆみがよくわかると思います。

## 平成14年度の組織 (平成14年6月11日現在)

会長	梶原 拓 (岐阜県知事)
副会長	坂田 俊一 (岐阜県副知事)
理事長	服部 卓郎
専務理事	成戸 宏二
常務理事	福田 安昭
理事	小椋 卓 (岐阜県市長会事務局長)
理事	田中 幸雄 (岐阜県町村会会長)
理事	安藤 征治 (岐阜県都市教育長会会長)
理事	小島 理生 (岐阜県町村教育長会副会長)
理事	八賀 晋 (岐阜県文化財保護審議会委員)
理事	今城 松枝 (人権擁護委員)
理事	加藤 彰子 (揖斐郡大野町文化財審議会委員)
理事	平井 花画 (岐阜ユネスコ協会会長)
理事	澤田 哲郎 (岐阜県基盤整備部参事)
理事	広瀬 利和 (岐阜県地域県民部事業経営局長)
理事	日比 治男 (岐阜県教育長)
監事	棚瀬 文晴 (岐阜県参事)
監事	近藤 良一 (岐阜県副出納長兼出納事務局長)

## 職員

理事長	服部 卓郎
専務理事兼事務局長	成戸 宏二
常務理事兼経営部長	福田 安昭
経営部 次長兼課長	藤田 昭行
経営課 課長 補佐	藤吉 正樹
主任	中島ゆかり
主任	坂田 肇
事務専門職	山下真奈美
事務補助	鈴木 裕子
調査部 部長	武藤 貞昭
次長	片桐 隆彦
第1課 課長	坂東 肇
課長 補佐	近藤 聡・伊藤 利巴
	林 芳樹
学芸主事	安田 正枝
第2課 課長	藤岡比呂志
課長 補佐	鶴飼 高男・野村 元次
学芸主事	三浦 徹大
第3課 課長	高木 徳彦
課長 補佐	笹木 幸司・松岡 千年
学芸主事	春日井 恒・澤村雄一郎
	古屋 寿彦・三輪 晃三
	近藤 大典・小野木 学
	長谷川幸志・三島 誠
事務補助	若園みどり
飛騨出張所 所長	上原 真昭
課長 補佐	森下 茂司・竹本 哲行
学芸主事	小淵 忠司・大宮 次郎
主任	野中智代美
事務補助	中島真名実

## 「平成14年度 第1回理事会の様子」



6月11日「ふれあい会館」にて



# 平成14年度 調査事業計画

凡例	事業マーク	時代マーク			
	発掘	縄文	縄文時代	弥生	弥生時代
	整理	古墳	古墳時代	古代	古代
		中世	中世	近世	近世



柿田遺跡 網代近景

**A 塚奥山遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

平成8年度に始まった調査の最終年度です。これまでに縄文時代中期～後期の集落の様子が明らかになり、土器や石器が大量に出土しました。今年度は、それよりさらに古い縄文時代早期(約8,000年あまり前)の発掘調査を行います。

事業者：水資源開発公団徳山ダム建設所  
事業名：徳山ダム建設事業

**発掘**

**B 塚奥山遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代早期から後期にかけての集落跡が見つかりました。縄文時代中期末の竪穴住居跡が多数の貯蔵穴や墓穴などの外側に弧を描くように並んでおり、当時の集落構造が解明できそうです。また、大量の出土遺物のなかには、復元できるものが多く含まれています。

事業者：水資源開発公団徳山ダム建設所  
事業名：徳山ダム建設事業

**整理**

**C 樋原村平遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代中期～後期の集落跡が発見されるのではないかと予想されています。また、この地区には、南北朝時代に建てられた白山神社や仁田四郎由定(新田義貞)の墓との言い伝えのある場所などがあり、中世の様子が分かる可能性もあります。

事業者：水資源開発公団徳山ダム建設所  
事業名：徳山ダム建設事業

**発掘**



塚奥山遺跡 縄文土器 接合作業

## 日本の時代区分表

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世

近・現代

(注)日本の旧石器時代の始まりについては、現在、再検討されています。よって、本紙では、新たな見解が発表されるまで、年代の記載を中止いたします。また、縄文時代の始まりについては、ほかに約13000年前など、いくつかの説があります。

約12000年前(100年を5mmで表現すると、縄文時代は約50cmになります)

約2300年前

約1700年前 710/794

1192 1333 1573 1603 1868

飛鳥時代 奈良時代

安土・桃山時代

大正

・5・

**D 寺平遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代の土坑や平安時代の礎石建物跡・掘立柱建物跡が見つかりました。この地に寺があったという言い伝えを裏付けるものかもしれません。出土した遺物やこれまでに発掘調査がされた旧徳山村の遺跡を丹念に検討していくことにより古代の様子が明らかになりそうです。

事業者：水資源開発公団徳山ダム建設所  
事業名：徳山ダム建設事業

**整理**

**E 尾元遺跡 (藤橋村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

縄文時代前期と中期の集落跡や平安時代の水場遺構などが見つかりました。縄文時代の住居、墓、貯蔵施設が揃って出ていますので当時の生活の様子がわかる貴重な遺跡です。水場遺構は湧き水を利用した木の葉の処理施設で、トチの実の皮が出土しています。

事業者：水資源開発公団徳山ダム建設所  
事業名：徳山ダム建設事業

**整理**

**F 岩井戸陰遺跡 (武芸川町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

自然の力によってできた岩の空間(＝岩陰)を縄文時代から中世まで人々が様々な用途で利用してきたことがわかりました。出土した遺物から縄文時代には狩猟のキャンプ地として、古墳時代や平安、鎌倉時代にはまつりごとをおこなう場として利用されていたことが予想されます。

事業者：美濃建設事務所  
事業名：一般国道418号道路改良

**整理**

**G 重竹遺跡 (関市) 上西田遺跡 (美濃市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

古代から中世までの集落跡、屋敷跡や水田跡、溝、道路などが見つかりました。土壘と堀を持つ屋敷や鍛冶に関する遺物から、有力者が存在したことや、この地が当時から産業や交通の要地であったことがわかります。金属製品や中世の陶磁器類が多数出土しています。

事業者：国土交通省岐阜国道工事事務所・日本道路公団岐阜工事事務所  
事業名：東海環状自動車道(関～美濃加茂)建設・美濃関JCT工事

**整理**

**H 改田遺跡・一本杉遺跡、茶屋下遺跡 (美濃市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

改田遺跡・一本杉遺跡、茶屋下遺跡は、3つの遺跡名がついていますが、調査する場所は連続して細長く続いており、一連の遺跡です。鎌倉時代～室町時代にかけての遺跡と考えられますが、古くは縄文時代や弥生時代のものも出る可能性があります。

事業者：美濃建設事務所  
事業名：県道岐阜美濃線道路改良

**発掘**

**I 栗坪遺跡 (美濃市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

周りには、奈良・平安・中世・近世の遺跡があります。この遺跡の事前の調査では、石組みが見つかりました。中世の墓と考えられています。また、石組みのまわりからは、山茶碗が数十点見つかりました。

事業者：美濃建設事務所  
事業名：県道御手洗立花線道路建設

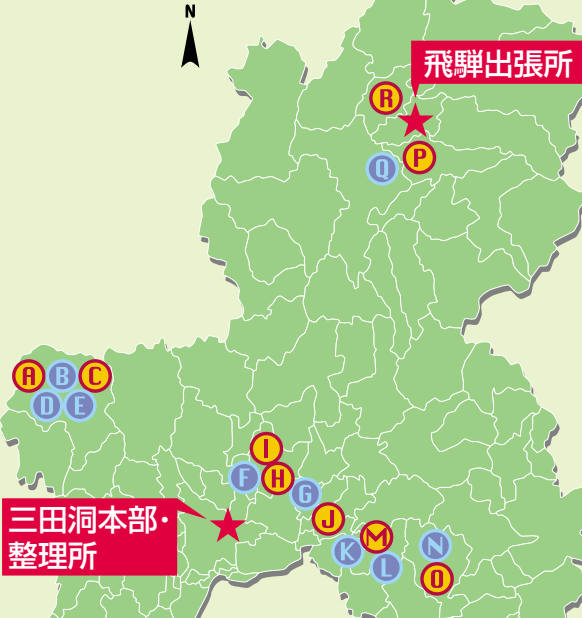
**発掘**

**J 深渡A地点・B地点遺跡 (美濃加茂市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

近くには当センターが調査をした、針田遺跡や冨田清友遺跡があります。調査をする場所付近の畑からは、弥生土器、中世の陶磁器が数多く見つかりました。縄文時代～室町時代にわたる、かなり長い時期の様子がわかる遺跡だと予想されます。

事業者：可茂農山村整備事務所  
事業名：県営一般農道整備事業(牧野地区)

**発掘**



今年も岐阜県の各地で、発掘調査が行われているよ。三田洞本部・整理所や飛騨出張所では地道に整理作業が行われているよ。昔のことを「ふりかえり」ことができそうだ!!



**K 藤田坂遺跡 (可児市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

弥生時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡、欄などが見つかりました。住居跡から弥生土器がまとまって出土したことから、このあたりに弥生時代の集落があったことがわかりました。

事業者：可茂建設事務所  
事業名：一般国道248号可児バイパス道路改良

**整理**

**L 柿田遺跡 (可児市・御高町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

弥生時代から近世までの集落跡や水路、それに関する灌漑施設や水田跡が見つかりました。3年間にわたる8万㎡の発掘調査が終わり、大量の出土遺物や図面や写真をもとに当時の様子を復元しようと整理作業を進めています。木製遺物が多く出土しているのもこの遺跡の特徴です。

事業者：国土交通省多治見工事事務所  
事業名：東海環状自動車道(八百津～笠原)建設

**整理**

**M 上恵土城跡・浦畑遺跡 (御高町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

昨年度にも一部を発掘しました。室町時代の屋敷跡が見つかり、その一部に切石を土台にしたかまどと土間を伴ったかまど施設跡がありました。茶の湯で釜の湯を沸かすための道具の一部と思われるものも出土しています。

事業者：国土交通省多治見工事事務所  
事業名：一般国道21号可児御高バイパス建設

**発掘**

**N 丸石古窯跡群 (土岐市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

中世の山茶碗窯が4基横並びに見つかりました。上下3段階に重なった窯跡が1基あり、2度の改修を経ながら長期間操業していたことがわかりました。この古窯跡群では、大量の碗や皿のほか硯や仏具、壺など様々な種類の焼きものが窯で焼かれていました。

事業者：日本道路公団岐阜工事事務所  
事業名：中央自動車道西宮線土岐JCT建設工事

**整理**

**O 土岐口西山古窯跡群 (土岐市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

中世の山茶碗を焼いた窯と考えられています。付近にも窯がいくつかあり、見晴らしがよく風通しがよい、また良質な粘土や木材が近くにあるといった窯を造るのには恵まれた環境の中にある遺跡です。

事業者：国土交通省多治見工事事務所  
事業名：東海環状自動車道(八百津～笠原)建設

**発掘**



丸石古窯跡群 遺跡全景

**P のうち野内遺跡 (高山市)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

高山市上切町の山ぎわにひろがる平安時代の集落跡です。調査は始まったばかりですが、須恵器(青灰色のかたい焼き物)や灰釉陶器(釉薬をかけた灰色のかたい焼き物)が多く出土しています。竪穴住居跡も見つかりました。

事業者：国土交通省高山国道工事事務所  
事業名：中部縦貫自動車道建設

**発掘**

**Q かみいわの上岩野遺跡 (清見村)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

昨年度発掘調査を実施しました。縄文時代中期から後期前半の遺物が約20万点出土しました。住居跡から出土した多くの縄文土器の復元が可能なので、根気強い作業が続いています。(遺跡の全景写真は表紙にあります。)

事業者：国土交通省高山国道工事事務所  
事業名：中部縦貫自動車道建設

**整理**

**R にしがほらほいし西ヶ洞廃寺跡・中野山越遺跡・中野大洞平遺跡 (古川町)** 縄文 弥生 古墳 古代 中世 近世

古城郡古川町内で3つの遺跡を調査します。西ヶ洞廃寺跡は、「寺」などの文字が刻まれた古代の須恵器等が出土している地点です。中野山越遺跡と中野大洞平遺跡は、縄文時代から古代の集落跡です。

事業者：飛騨地域農山村整備事務所  
事業名：県営農道整備事業(古川南部2期)

**発掘**



柿田遺跡 木製品 実測風景

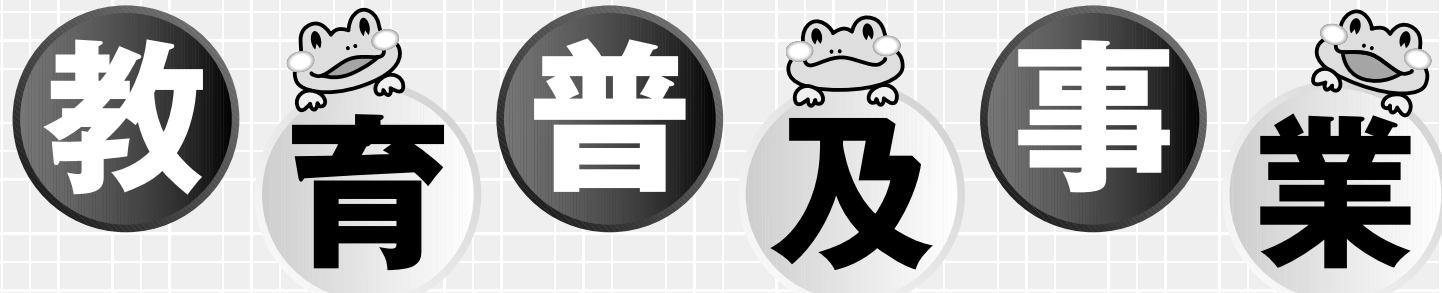
BC(紀元前) | AD(紀元後)

## 福井県三方町縄文博物館で美濃地方の縄文土器を展示中！

センターでは、今までに発掘した遺物を全国各地の博物館などへ貸し出しています。現在、福井県三方郡の「三方町縄文博物館」に美濃地方の縄文土器を20点を貸し出しています。縄文時代に岐阜と福井の交流があったこと、さらに遠い地方との交流があったことを示す貴重な資料として、8月18日までの予定で展示がされています。三方町には、縄文時代の遺跡として全国でも有名な「鳥浜貝塚」があり、三方五湖周辺に豊かな縄文人の暮らしがあったことがわかっています。「縄文時代の人々は、われわれの想像以上に遠くの情報を手に入れています。…岐阜県は福井県をはじめとして、7つの県に囲まれています。



美濃地方は北陸・中部・東海・近畿の4地方の交通・情報の交差点にあるといってもよいでしょう。そのため、出土した縄文土器には美濃地方独特なもの他に、これらの地方の特徴がみられます。」(三方町縄文博物館 展示リーフレットより)



## 一度は参加してみたいセンターの活動あれこれ



中学生整理所体験 石器作り

センターでは、今年も9遺跡の発掘調査と昨年度までに発掘調査を終了した9遺跡の整理作業をおこないます。そこで発掘調査の様子やセンターのことをより知っていただくための活動をいろいろな形でおこないます。私たちの郷土の歴史と文化遺産をよりよく理解して、未来に正しく伝えていけたらという願いを込めています。

夏休み、親子発掘体験「タイムスリップ探検隊」を毎年行っています。その他に、学校からの希望に合わせて、見学や体験を行っています。昨年度は、小学校での社会科の学習、中学校の総合学習として発掘体験を、進路の学習として整理所見学と体験(土器洗い、接合、石器作りなど)を行いました。また、地域の自治会などからの希望で、発掘見学を行っています。



13年度 発掘速報展 風景

発掘調査の成果をより多くの方々に見ていただくために、「現地説明会」および「発掘速報展」を行っています。

このような行事は、センターのホームページやセンターだより「きずな」などを通じて、皆さんにお知らせします。詳しくは、センターにお問い合わせください。

## Center topics 1

## INFORMATION 1

### 親子で発掘体験 タイムスリップ探検隊募集

【対象】 県内小学校5・6年生とその保護者  
定員：計100名(各コース50名前後)

#### ■美濃コース

【日時】 平成14年7月31日(水)  
【場所】 上恵土城跡・浦畑遺跡(御嵩町)雨天順延(8月2日まで)  
午前9時～午後4時

【申込先】 〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1  
(財)岐阜市文化財保護センター  
TEL 058-237-8553 FAX 058-237-8551

#### ■飛騨コース

【日時】 平成14年8月7日(水)  
【場所】 野内遺跡(高山市)雨天順延(9日まで) 午前9時～午後4時  
【申込先】 〒509-4122 吉城郡国府町名張字峠1425-1  
(財)岐阜県文化財保護センター飛騨出張所 TEL 0577-72-4784 FAX 0577-72-4690



昨年度の様子

#### 【申込期間】

住所・氏名(応募者全員)・学年・性別・学校名・電話番号・参加希望コースを明記し、7月12日(金)までにはがき、ファックス又はメールにて、お申し込みください。各コース別の申し込み先にお送りください。

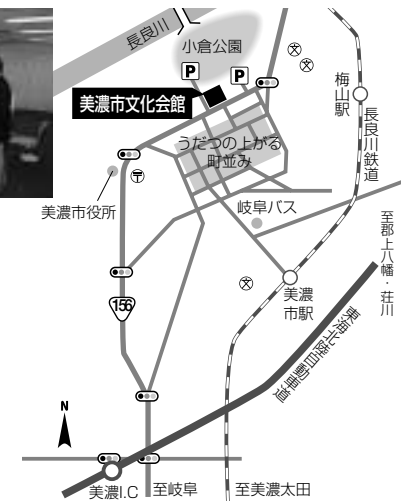
## INFORMATION 2

### 岐阜県新発見考古速報2002 県内の発掘情報がいっぱい!!

【日時】 平成14年7月13日(土)  
【場所】 美濃市文化会館(ホール)  
【報告】 「重竹遺跡(関市)・上西田遺跡(美濃市)」  
(財)岐阜県文化財保護センター 長谷川 幸志  
「末洞遺跡(関市)」  
関市教育委員会 伊藤 聡氏  
「柿田遺跡(可児市・御嵩町)」  
(財)岐阜県文化財保護センター 小野木 学  
「渡来川北遺跡(美濃市)」  
美濃市教育委員会 高木 宏和氏  
【講演】 「岐阜県の中世城館(仮題)」  
岐阜県中世城館総合調査調査指導委員 村田 修三氏



昨年度の様子



## センター日誌だより

3月	11 職員研修「男女共同参画社会づくりのために」「交通安全について」 国際日本文化研究センター宇野隆夫教授重竹遺跡指導 19 柿田遺跡出土土製品(建築部材)記者発表 20 理事会 22 整理所作業終了 31 職員転退者15名
4月	1 職員転入者6名 15 整理所作業開始
5月	11 「縄文土器を見る会」研修会27名～12日(飛騨出張所) 14 国府町小学校1年生遠足立ち寄り(遺物見学)(飛騨出張所) 21 岐阜市立三輪南小学校職員25名本部整理所見学
6月	11 理事会



## あとがき

『きずな』も創刊から12年目になりました。今回、ささやかですがマイナーチェンジしました。ひとつは、本誌中央のカラーページを、見開きでよりダイナミックに構成するようにしました。そのため綴じ穴をなくしました。ファイリングに不便をおかけするかもしれませんが、どうかご容赦ください。もうひとつは、表紙を少しだけインパクトのあるレイアウトに変えました。ただ、「初心忘るべからず」。本誌創刊以来のタイトル『きずな』に込められた願い(創刊号の編集後記に記載)を表紙に掲載しました。この思いを改めて大切に、今年度の事業ならびに情報発信にあたってまいりたいと考えています。みなさまのご意見、ご感想をお待ちしております。

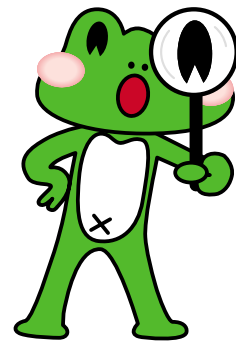
# 県博物館常設展示

関市小屋名の岐阜県博物館で、センター保管の出土品展示を始めて2年目となります。  
9月までは、飛騨地方で出土した縄文土器12点を展示しています。

展示ケース①には、縄文時代早期(約9千年～6千年前)の中頃に使われていた「尖底深鉢」を7点展示しています。丹生川村の「西田遺跡」と下呂町の「上ヶ平遺跡」から出土したものです。表面には、刻みの入った棒状の道具を転がしてつけた楕円文や山形文などの文様が見られます。その文様の付け方から押し型文土器と呼ばれています。たいへん古い時期の土器なので、発見されるのはわずかです。完全に復元されたこの「尖底深鉢土器」をぜひご覧ください。



西田遺跡



たのもと遺跡

縄文時代 時代区分	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期
※縄文時代の区分には、ほかにもいくつかの説があります。	約12000年前	約9000年前	約6000年前	約5000年前	約4000年前	約3000年前

## ホームページ開設中!!

センターでは、公式のホームページを開設しています。発掘速報展や現在発掘調査を行っている遺跡の現地説明会など、センターのイベントを紹介しています。今までに調査が行われた遺跡や出土した遺物について紹介したページもあります。その他にもセンターの仕事、考古学の世界をわかりやすく説明した「埋文スペシャル」など、盛りだくさんの情報を公開しています。ぜひ、ご覧ください。また、みなさんからのご意見・ご感想などもお待ちしております。

<http://www.maibun.gifu-net.jp>  
 e-mail : 三田洞本部・整理所 gifu@maibun.gifu-net.jp  
 : 飛騨出張所 hida@maibun.gifu-net.jp

(財) 岐阜県文化財保護センターのホームページへようこそ

センター最新ニュース  
 2002.03.20  
 ● 縄文時代中期、約5000年前、岐阜県飛騨郡  
**中世の楕円文土器の「茶負」全国初出土**

発掘速報情報

お問い合わせ  
 2002年4月1日～7月31日まで  
 期間限定で、お問い合わせは、  
 電話・FAX・Eメールのいずれかから  
 お願いいたします。

〒500-8503 岐阜県関市三田洞1-10-1  
 TEL 05712-4764 FAX 05712-4766  
 E-mail: maibun@maibun.gifu-net.jp